

発刊のことば



NPO 法人千葉県少年野球連盟
理事長 平 澤 晃

千葉県少年野球連盟は、昭和 46 年に任意団体として発足し連盟創立 31 年後の平成 13 年特定非営利活動法人に移行後 20 年で 50 周年を迎えました。

本連盟は、青少年の健全育成の一環として、千葉県少年野球所属の少年少女を一堂に集めスポーツを愛し野球を楽しみながら部員相互の調和と親睦を図り、併せて軟式野球の普及に努めております。年度内事業としては、少年野球大会（千葉日報旗大会、ろうきん旗大会、低学年ロッテ旗大会、春季及び秋季女子野球大会、友遊ボール大会、地域対抗 6 年生選抜大会）、指導者養成講習会、審判指導者講習会、少年野球教室等に関する諸事業を実施しております。

創立 50 周年を経過するに当たり、本連盟が歩んできた足跡を記録にとどめ後代に伝えるため、「50 年のあゆみ」を発刊することになりました。

この 10 年を振り返ってみますと、本連盟チーム登録数は平成 24 年度 599 チーム、部員数は約 13,500 名でしたが平成 28 年度 505 チーム（約 11,000 名）を境に 500 チームを割り込み、今年度は 462 チーム、部員数約 9,600 名程度ですが

女子選手の部員数は増加傾向（今年度 697 名）にあり、春季・秋季女子野球大会および本連盟独自で考案した、小学生 3 年生以下の子供達と親御さん参加の「友遊ボール大会」は県下 3 ブロックにて予選会を行い、代表チームによりチャンピオン大会を開催し盛り上がっております。

少年野球を取り巻く環境は、少子化の影響やスポーツ活動の多様化により厳しい状況が続いておりますが、プロ野球関係者、社会人野球関係者および高等学校野球関係者、本連盟や各地域連盟と協力し野球少年少女の底辺拡大に努めていきたいと思っております。

また、一昨年から新型コロナウイルス感染症により多くの大会やイベントが中止や延期をせざるを得ない状況ですが、一日も早く以前のような活気ある社会に戻ることを願うばかりです。

本連盟役員も含め少年野球指導者の基本的使命は、野球を通して、礼節や忍耐・感謝の気持ち、他人への思いやりの心、人と協力することの大切さなど、人間としての基本というべきことを身につけさせ、逞しい心身の育成に努めなければならないと思っております。

結びに、創立 50 周年を迎え、本連盟の運営にご支援ご協力を賜りました関係団体、関係各位に對し心より感謝申し上げますとともに今後の事業推進に一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。発刊のことばといたします。

2021 年 12 月 9 日に他界されました。

本文は生前寄稿された文をそのまま掲載いたしました。

生前の少年野球へのご尽力に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

創立 50 周年を迎えて



千葉県知事 熊谷 俊 人

千葉県少年野球連盟が創立 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。貴連盟は、昭和 46 年に創立されて以来、競技会の開催や地域スポーツにおける少年野球の普及、選手の育成や指導者養成と幅広い活動を展開し、数々の業績を残されてきました。これもひとえに、平澤理事長をはじめ、歴代役員並びに関係者の皆様の御努力の賜物であり、深く敬意を表しますとともに、本県のスポーツ推進に多大な御貢献をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

我が国にとって「野球」は、少年野球からプロ野球まで、多くの方々に「するスポーツ」「みるスポーツ」として愛されており、性別や年齢を問わず生涯スポーツとしても幅広い層の方々に親しまれています。

また、体力づくりや健康増進とともに、責任感や団結力などの育成が期待され、豊かなスポーツライフの実現に大きく寄与してきました。

例年熱い戦いを繰り広げてきた、千葉日報旗大会やロッテ旗大会、ろうきん旗大会をはじめ、多くの大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になり、日頃の活動にも影響が及ぶ状況ですが、再び熱気あふれる大会が開催されることを切に願っております。

貴連盟におかれましては、今後とも勇壮活発に子どもたちの夢を育み、本県のより一層の発展に御尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、創立 50 周年という節目を契機といたしまして、千葉県少年野球連盟の益々の御発展を祈念するとともに、本県スポーツの推進に御活躍いただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、記念誌発刊に寄せるお祝いの言葉といたします。



創立 50 周年を祝して

千葉県野球協会 理事長 小 泉 喜 作

千葉県少年野球連盟を昭和 48 年に創立し、特定非営利活動法人に発展され、今日 50 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

少子高齢化社会が進みつつある今日、スポーツに親しむ事は極めて大きな意義を有しております。そうした中で軟式野球は生涯スポーツの原点であり、関係者の皆様の真摯なご努力の賜と感謝に堪えません。

皆様方におかれましては、野球を通じて成長著しい小学生時代に野球技術の向上だけでなく、心身ともに健康で人間として基本的な躰を重視する活動方針を実践されており、連盟創立以来、少年たちが心豊かなたくましい人間となることを目指し、さらに健康管理にも重大な関心をもたれ、特定非営利活動法人千葉県少年野球連盟規則をはじめ、大会特別規則等を施行されて競技運営に情熱を注がれた功績は誠に偉大であり、経緯と感謝を申し上げる次第であります。

私共、千葉県野球協会も創立 70 周年を経過致しました。野球は国民の生涯スポーツと言われる通り、小学校時代に正しい指導のもとに野球を学ぶことにより、還暦を過ぎてもなお野球を楽しむことが可能であります。

2020 東京オリンピックでは、野球・ソフトボールが復活し、両競技での金メダル獲得で大いに盛り上がりました。また、メジャーリーグでの大谷翔平選手の活躍は、現在の小学生にも大きな勇気と希望を与えてくれました。

結びに、50 周年を迎えられた千葉県少年野球連盟におかれましては、希望に満ちた若い芽の少年が大きく正しく育てられ、数年後の活躍を期待致しますとともに、役員並びに関係者の皆様方のご健勝と貴連盟の益々のご隆盛を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



野球人口の拡大を目指して

千葉県高等学校野球連盟

会長 酒 匂 一 揮

千葉県少年野球連盟が創設され 50 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。半世紀にわたって千葉県の子供たちに野球を愛する心の育成と野球技術の向上に多大なる貢献をされましたことに、改めまして敬意を表します。私自身も、貴連盟が創設されたころ、船橋市の少年野球チームに所属しており、休みの日には無心で白球を追っていたことを思い出します。

これまで貴連盟は、野球を通して子供たちを健全に育成するばかりでなく、低学年大会や友遊ボール等において、一貫して野球人口の裾野拡大に尽力されてきました。特に、この 2 年間は新型コロナウイルスの感染症拡大により、感染拡大防止対策を施しながらの行事の企画、運営において、細心の注意を払い、各大会を展開されたことと存じます。

高校野球でも、昨年の夏の選手権大会が中止となりました。今年の第 103 回千葉大会は開会式も含め開催できました。しかし、例年ご協力いただいている少年野球チームのバッテリーによる始球式は、感染拡大防止の観点から行うことができませんでした。

8 月の令和 3 年度都道府県高等学校野球連盟会長会議で、部員数の大幅減少に関することが話題となりました。令和 3 年 5 月 1 日現在において、全国の野球部員数は 3,772 名の減少。この数字は、全国で部員数 11 位である広島県の部員数と同じです。さらに、千葉県の減少数が 323 名と、全国最多となっていました。

そこで、高校野球の歴史が 100 年を迎えたことから、千葉県高野連では、普及・振興・けが予防・育成・基盤作りをテーマとした「高校野球 200 年構想」の取組を展開しています。貴連盟創設 50 周年を機に、より連携を強化して、野球に興味を持ち、野球を行い続けていく、次世代の担い手を育成していきたいと願っております。

結びに、半世紀を超える千葉県少年野球連盟がますます発展されることを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 50 周年を祝して



千葉銀行 頭取 米 本 努

千葉県少年野球連盟が創立 50 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

また、創立 50 周年を迎えるに至るまでの、歴代の役員の皆さまをはじめとした、地域関係者、審判団、指導者ならびにご父兄の皆さまによる継続的なご尽力・ご支援に対し、深く敬意を表します。千葉県は全国でも屈指の野球王国ですが、それもひとえに本連盟のたゆまぬ普及活動によるご功績であると拝察します。

野球は国民的スポーツとして愛されており、観る者にとっても多くの感動を与えてくれます。昨年は東京オリンピックで日本が悲願の金メダルを獲得し、日本中が歓喜に沸きました。

プレーする者にとっては、野球をつうじてスポーツとしての楽しさはもちろん、ベストを尽くすことの大切さや人を思いやる気持ちを得ることができます。当行にも多くの少年野球経験者がおりますが、成長著しい重要な時期に、粘り強さや礼節等を学んだことは、社会人として活躍するうえでの重要な要素になっているものと感じます。

私ども千葉銀行は、千葉県内における少年野球の振興をつうじ、子どもたちの健全なる心身の育成を図るという本連盟設立の趣旨に賛同し、本連盟が主催されている「千葉県少年野球大会」に協賛をしております。この大会は 1971 年に館山市で第 1 回大会が行われて以来回を重ねてまいりました。去年 8 月の第 51 回大会は連盟創立 50 周年の記念大会として、64 チームで激しい熱戦が繰り広げられる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。私も本大会の大会会長を務めさせていただいており、誠に残念な思いでいっぱいです。今年こそは、選手のみなさんの若さあふれる伸び伸びとしたプレーを見せていただけるものと心から願っております。

結びに、創立 50 周年を契機として、千葉県少年野球連盟が益々発展されますことを記念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



本県野球の基盤を支え続けて

千葉日報社 代表取締役社長 大澤 克之助

千葉県少年野球連盟が創立 50 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。半世紀にわたり、皆さまが青少年の健全育成と野球の普及、振興にご尽力されてきたことにあらためて感謝と敬意を表します。

共催させていただいている千葉県少年野球大会（千葉日報旗大会）は長年、貴連盟とともに歩んでまいりました。私事ですが若手記者だったころは、同大会を何年間も取材しました。炎天下で繰り広げられる熱戦は、応援する選手たちの家族や関係者の皆さんが一体となり、まさに真夏の祭典にふさわしい盛り上がりでした。千葉日報旗大会だけでなく数多くの大会開催をはじめ指導者講習会、野球教室など長年の活動が野球王国千葉の礎となったことは申し上げるまでもありません。時代の変遷とともに少子高齢化、国民の価値観とスポーツの多様化など野球を取り巻く環境も大きく変化しています。さらに世界を席卷したコロナ禍によって千葉日報旗大会も 2 年連続で中止を余儀なくされました。

しかし、節目の年に合わせたかのように 2021 年秋、佐倉市出身の長嶋茂雄氏が「文化の発展や向上にめざましい功績」により文化勲章を球界で初めて受章。野球が国民的スポーツにとどまらず文化として認められました。さらに MLB における大谷翔平選手の投打「二刀流」の大活躍と MVP 獲得は多くの野球を志す子どもたちに新たな夢と希望、目標をもたらしてくれました。貴連盟の皆さまにおかれましては球児たちの夢と希望を支援しながら、本県野球文化の基盤を支え続けていただきたいと思います。

礼節を学び仲間への思いやりの心と協調性を養いながら体力を向上させるなど、野球を通して身につけられることは、長い人生において必要なことばかりです。弊社といたしましてもこれからも貴連盟ともに千葉県の野球文化振興と青少年の健全育成に取り組んでまいりたいと思っています。



創立 50 周年を祝して

全国共済農業協同組合連合会
千葉県本部長 小 倉 利 彦

千葉県少年野球連盟が創立 50 周年を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

少年野球をとおして、県内の野球を志す子供たちの心身の健康増進・成長等、育成活動にご尽力されている千葉県少年野球連盟の役員の皆様方に、あらためて敬意を表します。

J A 共済は、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を果たすべく、協同組合の『相互扶助（助け合い）』の理念にもとづき、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに努めています。野球はチームスポーツであり、選手・指導者が一丸となってみんなで助け合いつつ勝利を目指すという点で、協同組合の理念にも通じていることから、千葉県少年野球連盟を協賛させていただいております。

今年度も各大会では、選手・指導者が一致団結し、全力で白球を追いかける姿に大変心揺さぶられるものがありました。チームの仲間を信頼し、共に助け合い、苦しみも楽しみも分かち合うことで、勝ち負けを超えた多くの学びと仲間との強固な絆を得られたことは間違いありません。

多くの少年・少女が野球というチームスポーツを通じて、多くの仲間と共に助け合い、心身ともに健康で素直に成長されることを願っております。

J A 共済は、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供とともに、今後も少年野球連盟への支援や交通安全教育など、様々な地域貢献活動を通じて、地域との絆を強化し、地域の皆様に「安心」と「満足」をお届けしてまいります。

結びに、創立 50 周年を契機として、千葉県少年野球連盟がさらなるご発展を遂げられますとともに、関係各位のご健勝とご活躍を心より祈念申しあげ、お祝いの言葉といたします。



創立 50 周年を祝して

中央労働金庫常務理事（千葉県本部担当）

小 谷 裕

千葉県少年野球連盟の創立 50 周年ならびに記念誌の発刊をお祝い申し上げます。この間、歴代役員をはじめ関係者の皆様方が千葉県少年野球の発展ならびに子供たちの健全な育成にご尽力されてこられたことに心から敬意を表します。

50 年という長き間には、連盟に関わることはもとより社会的にも様々な出来事があったものと推察いたしますが、とりわけ昨年来の新型コロナウイルス感染症により、経済・社会の変化をはじめ、子供たちの教育といったことを含め大きな影響を受けることとなっています。

この影響により、2 年連続で少年野球千葉県選手権大会（ろうきん旗争奪）の開催を見送らざるを得ない事態となったことは、子供たちへの感染を防止する観点とはいえ、大変申し訳なく残念な出来事となりました。

しかし、野球を通じた子供たちの健全育成ということの大切さはいささかも変わるものではありません。挨拶の習慣をはじめ心身の鍛錬、さらにはチームプレーを通じた思いやりや仲間意識の醸成、上手になりたいという向上心、プレーを通じた考察力等々、私自身も野球を通じて様々な経験をしてきているだけに、こうした大切さをより強く感じています。

一方では、新型コロナウイルスによる人流抑制等により社会が閉塞感に包まれている中で、子供たちの健全な育成という視点はもちろん、練習や試合を通して、応援や指導といったご両親をはじめとした家族やグループが一体感を持てる場ということが一層重要になってきているといっても過言ではありません。こうした思いを持ちながら、一日も早く通常の生活ができるような社会になることを強く願う次第であります。

結びに、私たち中央労働金庫は、引き続き少年野球千葉県選手権大会（ろうきん旗争奪）の開催を含め福祉金融機関という社会的役割を果たしていく所存であることを申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

千葉ロッテマリーンズ 代表取締役

河 合 克 美

千葉県少年野球連盟の創立 50 周年、誠にありがとうございます。まずはお祝い申し上げますと共に、50 年という長きに渡り、少年少女の心身共に健全な育成や野球普及・振興にご尽力されてこられた関係各位には深く敬意を表します。また、当球団の野球振興事業にも多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

創立 50 周年の節目は、新型コロナウイルス感染症により世界中が未曾有の危機にさらされました。人と人が接する機会が減少し、当然のことながら野球をする機会も奪われました。日常が奪われるという辛い経験をしたからこそ、野球ができる喜びや対戦できる有難さを感じることができたことと思います。子供たちには、この経験を前向きに捉え、野球以外の視野も広げ「心・技・体」すべてが成長できる貴重な経験となり、当たり前への感謝、相手を思いやる気持ちを持ちながら強く成長して欲しいと願っています。

我々、千葉ロッテマリーンズは令和の常勝軍団となるべく日々挑んでおります。子供たちに夢を与え、地域コミュニティと共に成長し、地域の発展に貢献できますよう我々の使命、存在意義を再認識しこれからも取り組んで参ります。また、少年少女が野球を通じて社会に必要な基礎を学び、豊かな人間形成の一助となりますよう地域に寄り添い、今後も応援して参ります。貴連盟からもマリーンズの選手が誕生しておりますが、また新たに社会を牽引するリーダーの誕生やマリーンズの一員としてお迎えする日がくることを期待しております。

結びに、貴連盟が益々のご発展を遂げられますと共に、皆様方のより一層のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ祝辞とさせていただきます。



祝 辞

ナガセケンコー株式会社 代表取締役社長

星 久 美

この度、千葉県少年野球連盟が創立 50 周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。誠にありがとうございます。

弊社では、貴連盟の今日に至るまで変わらぬご愛顧を賜り、微力ではございますが活動のお手伝いをさせていただいていることを大変光栄に存じております。

皆様のお骨折りあり、多くの若者が育ち、現在では社会に貢献され力になっていることでしょう。50 年の継続はとても価値あることと改めて感じます。

役員の皆様を始め多くの関係者、指導者の皆様のご努力により、地域社会との交流、スポーツ普及、振興と青少年の健全な育成などの活動を通じ、組織の充実を図られて本日をお迎えになられたことと存じます。

今夏、開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピックでは野球で日本代表チームが金メダルを獲得する快挙を成し遂げ、私たちに感動を与えてくれました。スポーツの持つ無限の力は、子どもたちの今後の人生においても大きな糧となることでしょう。

2022 年には 3 年目を迎えようとしているコロナ禍は思いもよらない環境で、少年野球の活動を縮小せざるを得ないこともあり、引き続きご苦勞が続いていることと思います。このような状況の中でも子どもたちに体感させ、成就感を持たせるよう工夫するなどご苦心なさっておられることは想像に難くありません。

各チーム指導者の皆様におかれましては野球を通して子どもたちの技術の習得や体力の向上だけではなく豊かな心を培うことに努められている熱意に敬意を表するものです。野球を通して、子どもたちに礼儀や思いやりの心を育む機会を与えておられる指導者、連盟役員の皆様に末永くご尽力頂き、青少年の心身の健全育成に向けて、充実した活動となりますことをご期待申し上げます。

創立 50 周年の節目に当たり、貴連盟の今後益々のご発展と関係者の皆様方のご健勝をご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。